

第3回学校運営協議会 議事録

日 時：令和5年12月7日(木) 14:30～16:30

場 所：和歌山工業高等学校 大会議室

出席者

(学校運営協議会委員)

田中 一壽 氏 (和歌山商工会議所専務理事)

村田 頼信 氏 (和歌山大学システム工学部システム工学科教授)

梅田 千景 氏 (和島興産株式会社代表取締役)

和田 通尚 氏 (海南市立巽中学校校長)

高垣 晴夫 氏 (本校同窓会副会長)

西村 保展 氏 (本校同窓会副会長)

藤田 勝範 (本校校長)

(学校出席者)

阪中 潤 (全日制教頭) 木田 誠治 (定時制教頭) 岡本 邦敬 (事務長)

嶋田 光宏 (全日制総務部長) 吉田 庄吾 (全日制教務部長)

- 【1】 開会
- 【2】 会長挨拶
- 【3】 校長挨拶
- 【4】 議事 (議長：田中会長)

(1) 本校の教育活動について報告及び協議

藤田校長より、体育大会や文化祭など学校行事とともに2学期に行った学校運営について説明を行った。

阪中全日制教頭より、資料の「ニュース&トピックス」「資料提供」に沿って、2学期の取組について、説明を行ったのち、11月末現在の全日製の進路状況について説明を行った。

木田定時制教頭からは、資料の生徒の活動状況(定時制)に沿って、定時制の2学期の学校運営について説明を行ったのち、先日行った授業アンケートについて、その結果と分析について説明があった。

その後、阪中全日制教頭より、8月30日に行った生徒の意識調査アンケートの結果とその傾向や分析について、説明を行った。

生徒との懇談

学校運営委員会の委員と新旧生徒会のメンバーとの懇談を行った。

懇談のテーマとしては、「生徒の意識調査アンケートに関して」でしたが、委員の皆様には、多岐に渡って生徒と話をして頂きました。生徒との懇談終了後には、各委員よりグループ毎に以下の発表を頂きました。

グループI (田中一壽委員、村田頼信委員)

- ・夢を持って学校生活を送っている生徒が多かった。学校が楽しいと言っていた。
- ・4棟のトイレが汚いのを何とかしてほしいという要望があった。ガムを捨てている。
- ・数学の授業のスピードが速いので、途中の式を入れて欲しいと言っていた。
- ・文化祭は楽しかったと言っていた。

- ・先生方は非常に良くしてくれると言っていた。
- ・学校、自分に対してシビアに物事を見ていると感じた。
- ・授業については、面白いが一部の授業を邪魔する生徒をコントロールできていないと言っていた。
- ・授業が速いのも困るが、丁寧すぎるのも困ると言っていた。

グループⅡ （梅田千景委員、和田通尚委員）

- ・前向きでしっかりした生徒ばかりであった。
- ・自分の意見をはっきりと言えていると感じた。
- ・自分が頑張っていることを話してもらった。
- ・成績のことを不安に思っているようであった。
- ・考査の日程は、土日を含む日程にしてほしいという要望があった。
- ・球技大会をしたいと要望したが、日程を取ることが難しいと丁寧に説明を受けた。

日程検討に代案を出してくれるのは良かったと言っていた。

- ・18歳成人については、友達の会話が稚拙で気になるという生徒もあり、個人でかなり意識の差があるのではないかと感じた。
- ・うるさい授業がある。
- ・先生の教え方は、上手いと思っており、先生のレベルは高いと言っていた。
- ・和工に来たら、何でもできる
- ・いろいろな科があるので、他科の生徒とはいろいろな話ができる。
- ・もっと学科どうしの交流があればよいと感じているようであった。
- ・目的やビジョンを持って和工を選んでいるようであった。
- ・うるさい生徒に先生が諦めているように感じていた。
- ・大人になるのが楽しみだと感じた。

グループⅢ （高垣晴夫委員、西村保展委員）

- ・1年、2年、3年の生徒と話をすることができた。
- ・学年を追うごとに目標が定まってきているように感じた。
- ・3年生の生徒は、介護の道に進むと言っていたが、学んだことは必ず役に立つと思う。
- ・「したいことがありますか？」の問いに対して、正しい答えを返さないといけないと思っているようであった。1年生の回答に3年生がフォローをする場面もあった。
- ・建設用の3Dプリンタを入れて欲しいという要望があった。
- ・一人ひとりが非常にしっかりしていると感じた。
- ・一緒に学んでいる友達は非常に大事だと言っていた。

新学習指導要領の観点別評価の付け方に違和感がある生徒がいるようであった。

評価の付け方の説明が十分ではないのではないか？

テストの点が良くなくても、レポート等を出しておけば30点以上がつき、欠点にならないことが納得いかないうようであった。

吉田教務部長より、以下の説明があった。

観点別評価については、昨年度より始まり教員も手探りで評価を行っている状況である。テストだけで成績をつけることがなくなり、授業態度や提出物など、点数化しづらいものが評価対象に入ってきたことによ

り、全体的にマイルドな点数・成績になってしまう傾向にある。一方で留年となる生徒や退学生徒の数は確実に減っており、他校でも同様の傾向があるようである。

(2) 第4回の日程と内容について

1月30日の日程の都合が見つからないという委員様がおられたため、2月2日（金）15:00～17:00の日程はどうかということになった。

本日欠席されている委員の方のご予定を確認することにした。

内容について、昨年度は、「当該年度の学校運営に関する総括と次年度の学校運営について」が第4回の内容であったが、事務局で検討して案内時に連絡させて頂くこととなった。

最後に、藤田校長より、閉会の挨拶を行って、第3回学校運営協議会を終了した。